

(2) 制度改正の影響を検証するために条件の組合せを変えた場合の推計結果(概要)

① 給付水準(所得代替率)の見通し

条件の組み合わせを変えた場合(総括表)

【厚生年金】

年度 (西暦)	試算No. 3		試算No. 4	
	保険料率: 上限固定 スライド調整: あり 給付下限: なし 均衡期間: 永久 国庫負担割合: 1/2		改正後 (財政再計算)	
		%		%
2004		59.3		59.3
2005		59.1		59.1
2006		58.5		58.5
2007		58.2		58.2
2008		57.9		57.9
2009		57.5		57.5
2010		56.8		56.8
2011		56.1		56.1
2012		55.4		55.4
2013		54.7		54.7
2014		54.0		54.0
2015		53.5		53.5
2016		52.9		52.9
2017		52.5		52.5
2018		52.0		52.0
2019		51.6		51.6
2020		51.2		51.2
2021		50.8		50.8
2022		50.4		50.4
2023		50.0		50.2
2024		49.7		50.2
2025		49.3		50.2
2026		48.9		50.2
2027		48.6		50.2
2028		48.4		50.2
2029		48.3		50.2
2030		48.3		50.2
2031		48.3		50.2
2032		48.3		50.2
2033		48.3		50.2
2034		48.3		50.2
2035		48.3		50.2
2036		48.3		50.2
2037		48.3		50.2
2038		48.3		50.2
2039		48.3		50.2
2040		48.3		50.2
2041		48.3		50.2
2042		48.3		50.2
2043		48.3		50.2
2044		48.3		50.2
2045		48.3		50.2
2046		48.3		50.2
2047		48.3		50.2
2048		48.3		50.2
2049		48.3		50.2
2050		48.3		50.2

(注1) スライド調整を行ったケースのみ記載している。

(注2) 試算No.3については、仮に、機械的にマクロ経済スライドの適用を続けて年金財政を均衡させた場合の給付水準(所得代替率)の見通しである。

《参考: 制度改正の影響を検証するための試算の条件の組合せ一覧》

[厚年]

No.	保険料率※	スライド調整	給付下限	均衡期間	国庫負担割合	備考
1	固定せず	なし	なし	永久	1/3	厚年 従来方式
2	固定せず	なし	なし	永久	1/2	
3	上限固定	あり	なし	永久	1/2	
3'	固定せず	なし	なし	有限	1/2	
4	上限固定	あり	あり	有限	1/2	厚年 改正後

※ 保険料率の欄で、「上限固定」とは上限 18.30%の保険料水準固定方式のことで、

「固定せず」とは給付水準先決めのこと。

②保険料率の見通し

条件の組み合わせを変えた場合(総括表)

【厚生年金】

年度 (西暦)	試算No. 1	試算No. 2	試算No. 3	試算No. 3'	試算No. 4
	保険料率:固定せず スライド調整:なし 給付下限:なし 均衡期間:永久 国庫負担割合:1/3	保険料率:固定せず スライド調整:なし 給付下限:なし 均衡期間:永久 国庫負担割合:1/2	保険料率:上限固定 スライド調整:あり 給付下限:なし 均衡期間:永久 国庫負担割合:1/2	保険料率:固定せず スライド調整:なし 給付下限:なし 均衡期間:有限 国庫負担割合:1/2	改正後 (財政再計算)
	%	%	%	%	%
2003	13.580	13.580	試算No.4に同じ	13.580	13.580
2004	13.934	13.934		13.934	13.934
2005	14.288	14.288		14.288	14.288
2006	14.642	14.642		14.642	14.642
2007	14.996	14.996		14.996	14.996
2008	15.350	15.350		15.350	15.350
2009	15.704	15.704		15.704	15.704
2010	16.058	16.058		16.058	16.058
2011	16.412	16.412		16.412	16.412
2012	16.766	16.766		16.766	16.766
2013	17.120	17.120		17.120	17.120
2014	17.474	17.474		17.474	17.474
2015	17.828	17.828		17.828	17.828
2016	18.182	18.182		18.182	18.182
2017	18.536	18.536		18.536	18.300
2018	18.890	18.890		18.890	18.300
2019	19.244	19.244		19.244	18.300
2020	19.598	19.598		19.598	18.300
2021	19.952	19.952		19.952	18.300
2022	20.306	20.306		20.306	18.300
2023	20.660	20.660		20.660	18.300
2024	21.014	21.014		21.014	18.300
2025	21.368	21.368		21.368	18.300
2026	21.722	21.722		21.722	18.300
2027	22.076	22.076		22.076	18.300
2028	22.430	22.430		22.3	18.300
2029	22.784	22.784		22.3	18.300
2030	23.138	22.8		22.3	18.300
2031	23.492	22.8		22.3	18.300
2032	23.846	22.8		22.3	18.300
2033	24.200	22.8		22.3	18.300
2034	24.554	22.8		22.3	18.300
2035	24.908	22.8		22.3	18.300
2036	25.262	22.8		22.3	18.300
2037	25.616	22.8		22.3	18.300
2038	25.9	22.8		22.3	18.300
2039	25.9	22.8		22.3	18.300
2040	25.9	22.8		22.3	18.300
2041	25.9	22.8		22.3	18.300
2042	25.9	22.8		22.3	18.300
2043	25.9	22.8		22.3	18.300
2044	25.9	22.8		22.3	18.300
2045	25.9	22.8		22.3	18.300
2046	25.9	22.8		22.3	18.300
2047	25.9	22.8		22.3	18.300
2048	25.9	22.8		22.3	18.300
2049	25.9	22.8		22.3	18.300
2050	25.9	22.8		22.3	18.300

《参考:制度改正の影響を検証するための試算の条件の組合せ一覧》

[厚年]

No.	保険料率*	スライド調整	給付下限	均衡期間	国庫負担割合	備考
1	固定せず	なし	なし	永久	1/3	厚年 従来方式
2	固定せず	なし	なし	永久	1/2	
3	上限固定	あり	なし	永久	1/2	
3'	固定せず	なし	なし	有限	1/2	
4	上限固定	あり	あり	有限	1/2	厚年 改正後

※ 保険料率の欄で、「上限固定」とは上限 18.30%の保険料水準固定方式のことで、「固定せず」とは給付水準先決めのこと。

（参考事項）

保険料率
スライド調整
給付下限
均衡期間
国庫負担割合

上限固定（最終保険料率18.3%）
あり
なし
永久
2分の1

スライド調整期間（終了年度） 2029年度
所得代替率（終了年度時点） 48.3%

（仮に、マクロ経済スライドの適用を続けて48.3%まで給付水準調整した場合）

Table with columns: 年度(西暦), 保険料率, 収入合計, 収入, 国庫公経済負担, 運用収入, 基礎年金交付金, その他収入, 支出合計, 給付費, 基礎年金拠出金, その他支出, 差引残, 年度末積立金, 年度末積立金(16年度価格), 積立割合, 積立比率, 標準報酬総額. Rows from 2003 to 2100.

(注1) 長期的な(平成21(2009)年度〜)経済前提は次のとおり。

- 賃金上昇率 2.1%
- 物価上昇率 1.0%
- 運用利回り 3.2%
- 可処分所得上昇率 2.1%(ただし、平成29(2017)年度までは1.9%)

(注2)「積立割合」とは、前年度末積立金の当年度の支出合計に対する倍率である。

(注3)「16年度価格」とは、賃金上昇率により、平成16(2004)年度の価格に換算したものである。

(注4) 厚生年金基金の代行部分を含む、厚生年金全体の財政見通しである。

(注5) 収入・支出間で相殺される基礎年金交付金については、収入・支出両面から控除して財政見通しを作成している。

財政見通し

前提：試算No. 3'

【厚生年金】

(参考事項) 保険料率 固定せず
スライド調整 なし
給付下限 なし
均衡期間 有限
国庫負担割合 2分の1

Table with columns for Year (西暦), Insurance Rate (保険料率), Income (収入), and Expenditure (支出). It includes sub-columns for Total Income, Insurance Income, National Treasury, and various expenditure categories like Social Security Contributions and Other. It also tracks the Balance Sheet (収支) and Reserves (年度末積立金).

(注1) 長期的な(平成21(2009)年度～)経済前提は次のとおり。
賃金上昇率 2.1%
物価上昇率 1.0%
運用利回り 3.2%
可処分所得上昇率 2.1%(ただし、平成35(2023)年度までは1.9%)

(注2) 「積立度合」とは、前年度末積立金の当年度の支出合計に対する倍率である。
(注3) 「16年度価格」とは、賃金上昇率により、平成16(2004)年度の価格に換算したものである。
(注4) 厚生年金基金の代行部分を含む、厚生年金全体の財政見通しである。

(注5) 収入・支出間で相殺される基礎年金交付金については、収入・支出両面から控除して財政見通しを作成している。

7. 公平性の検証に関する資料

○ 職域部分を除いた場合の保険料率の将来推移

前提：改正後

【厚生年金】

年度 (西暦)	職域部分を除く保険料率 (①-②)÷⑤+②	①	②	③	④	⑤
		保険料率	基礎年金拠出金 相当保険料率	厚生年金相当 部分の給付費 (追加費用分・基礎年金交付 金分除く)	職域部分の 給付費 (追加費用分除く)	職域部分の比率 (2F+3F)/2F (③+④)÷③
	%	%	%	兆円	兆円	
2003	13.580	13.580	4.906	19.4	-	1.00
2004	13.934	13.934	4.951	20.1	-	1.00
2005	14.288	14.288	4.960	20.6	-	1.00
2006	14.642	14.642	4.973	21.4	-	1.00
2007	14.996	14.996	4.968	22.0	-	1.00
2008	15.350	15.350	5.068	22.8	-	1.00
2009	15.704	15.704	4.190	23.7	-	1.00
2010	16.058	16.058	4.035	24.4	-	1.00
2011	16.412	16.412	4.061	24.9	-	1.00
2012	16.766	16.766	4.134	25.5	-	1.00
2013	17.120	17.120	4.231	25.7	-	1.00
2014	17.474	17.474	4.311	25.6	-	1.00
2015	17.828	17.828	4.336	26.0	-	1.00
2016	18.182	18.182	4.361	26.2	-	1.00
2017	18.300	18.300	4.373	26.3	-	1.00
2018	18.300	18.300	4.376	26.5	-	1.00
2019	18.300	18.300	4.369	26.5	-	1.00
2020	18.300	18.300	4.353	26.6	-	1.00
2021	18.300	18.300	4.329	26.8	-	1.00
2022	18.300	18.300	4.295	26.8	-	1.00
2023	18.300	18.300	4.271	27.0	-	1.00
2024	18.300	18.300	4.281	27.4	-	1.00
2025	18.300	18.300	4.295	27.6	-	1.00
2026	18.300	18.300	4.308	27.8	-	1.00
2027	18.300	18.300	4.326	28.3	-	1.00
2028	18.300	18.300	4.354	28.7	-	1.00
2029	18.300	18.300	4.394	29.3	-	1.00
2030	18.300	18.300	4.443	29.8	-	1.00
2031	18.300	18.300	4.491	30.3	-	1.00
2032	18.300	18.300	4.549	30.9	-	1.00
2033	18.300	18.300	4.635	31.6	-	1.00
2034	18.300	18.300	4.730	32.3	-	1.00
2035	18.300	18.300	4.830	33.1	-	1.00
2036	18.300	18.300	4.937	33.9	-	1.00
2037	18.300	18.300	5.052	34.8	-	1.00
2038	18.300	18.300	5.173	35.6	-	1.00
2039	18.300	18.300	5.291	36.4	-	1.00
2040	18.300	18.300	5.400	37.2	-	1.00
2041	18.300	18.300	5.496	37.9	-	1.00
2042	18.300	18.300	5.586	38.6	-	1.00
2043	18.300	18.300	5.671	39.2	-	1.00
2044	18.300	18.300	5.752	39.8	-	1.00
2045	18.300	18.300	5.825	40.4	-	1.00
2046	18.300	18.300	5.888	41.0	-	1.00
2047	18.300	18.300	5.944	41.5	-	1.00
2048	18.300	18.300	5.999	42.0	-	1.00
2049	18.300	18.300	6.049	42.6	-	1.00
2050	18.300	18.300	6.090	43.1	-	1.00
2051	18.300	18.300	6.119	43.6	-	1.00
2052	18.300	18.300	6.141	44.0	-	1.00
2053	18.300	18.300	6.157	44.5	-	1.00
2054	18.300	18.300	6.167	44.9	-	1.00
2055	18.300	18.300	6.171	45.2	-	1.00
2056	18.300	18.300	6.169	45.6	-	1.00
2057	18.300	18.300	6.166	45.9	-	1.00
2058	18.300	18.300	6.162	46.3	-	1.00
2059	18.300	18.300	6.159	46.7	-	1.00
2060	18.300	18.300	6.156	47.0	-	1.00
2061	18.300	18.300	6.152	47.4	-	1.00
2062	18.300	18.300	6.151	47.8	-	1.00
2063	18.300	18.300	6.150	48.2	-	1.00
2064	18.300	18.300	6.149	48.6	-	1.00
2065	18.300	18.300	6.149	49.0	-	1.00
2066	18.300	18.300	6.150	49.4	-	1.00
2067	18.300	18.300	6.152	49.8	-	1.00
2068	18.300	18.300	6.153	50.3	-	1.00
2069	18.300	18.300	6.154	50.7	-	1.00
2070	18.300	18.300	6.154	51.1	-	1.00
2071	18.300	18.300	6.153	51.6	-	1.00
2072	18.300	18.300	6.151	52.0	-	1.00
2073	18.300	18.300	6.149	52.5	-	1.00
2074	18.300	18.300	6.145	52.9	-	1.00
2075	18.300	18.300	6.141	53.4	-	1.00
2076	18.300	18.300	6.137	53.8	-	1.00
2077	18.300	18.300	6.131	54.3	-	1.00
2078	18.300	18.300	6.125	54.8	-	1.00
2079	18.300	18.300	6.118	55.3	-	1.00
2080	18.300	18.300	6.109	55.9	-	1.00
2081	18.300	18.300	6.099	56.4	-	1.00
2082	18.300	18.300	6.087	56.9	-	1.00
2083	18.300	18.300	6.074	57.4	-	1.00
2084	18.300	18.300	6.059	58.0	-	1.00
2085	18.300	18.300	6.043	58.5	-	1.00
2086	18.300	18.300	6.026	59.1	-	1.00
2087	18.300	18.300	6.008	59.6	-	1.00
2088	18.300	18.300	5.989	60.2	-	1.00
2089	18.300	18.300	5.969	60.7	-	1.00
2090	18.300	18.300	5.949	61.3	-	1.00
2091	18.300	18.300	5.929	61.9	-	1.00
2092	18.300	18.300	5.908	62.5	-	1.00
2093	18.300	18.300	5.888	63.1	-	1.00
2094	18.300	18.300	5.868	63.7	-	1.00
2095	18.300	18.300	5.848	64.4	-	1.00
2096	18.300	18.300	5.828	65.0	-	1.00
2097	18.300	18.300	5.808	65.7	-	1.00
2098	18.300	18.300	5.789	66.3	-	1.00
2099	18.300	18.300	5.769	67.0	-	1.00
2100	18.300	18.300	5.749	67.7	-	1.00

8. 年金数理担当者の所見

今回の財政再計算においては、将来の保険料水準を固定した上で、おおむね百年間にわたる年金財政の均衡を図るために給付水準を自動的に調整する仕組みを導入する等の制度改正を踏まえ、制度の運営実績及び人口・経済等の将来見通しを基礎として、被保険者数・受給者数の推移や年金財政の収支についての将来見通しを作成したところである。

今後は、少なくとも5年ごとに行われることとなる定期的な財政検証において、最新の実績及び人口・経済等の将来見通しを基礎として「財政の現況及び見通し」を作成し、公表することとなるが、これまでの財政再計算において確立された数理的手法を継承・発展させて、長期的な年金財政の見通しをできる限りわかりやすく示していくことが必要と考えている。

9. 情報公開について

今回の財政再計算においては、制度改正案が決定された平成16年2月に年金財政の将来見直し等の主要な再計算結果を公表するとともに、同年8月には関連資料を含め財政再計算結果をとりまとめてホームページに掲載したところである。

その後、平成17年3月には基礎となる統計資料を含め詳細について「平成16年財政再計算結果」報告書としてとりまとめ、刊行物及びホームページにより公表した。今後とも、年金財政に関する情報をできる限りわかりやすく公開していくことが必要と考えている。

なお、財政再計算に用いたプログラム及び入力データについても、情報公開法の規定に基づく開示請求に応じて開示を行ったところである。